

## 高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

施設名	高松市文化芸術ホール		
指定管理者	公益財団法人 高松市文化芸術財団	施設所管課等	文化芸術振興課
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	非公募
所在地	高松市サンポート2番1号	業務の概要	施設の維持管理・運営業務 ホール(大ホール・第1小ホール・第2小ホール)の貸出 会議室(12)、リハーサル室(3)、練習室(6)、和室等の貸出 上記貸出施設の利用料の徴収に関する業務等 財団主催事業の企画・実施 自主事業(主催(補助)10・主催(独自)2・共催3の実施等 文化芸術振興事業の受託(アーツフェスタ、学校巡回芸術・能楽教室、デリバリーアーツ)
施設の概要	【施設】 鉄筋コンクリート造 地下2階・地上7階建(免震構造) 【職員の状況】 常務理事1人、嘱託職員24人、臨時職員3人 【使用時間】 9:00-22:00(9:00-23:00、リハーサル・練習室) 年末年始は休館		

	項目名	平成29年度	平成28年度	項目名	平成29年度	平成28年度
利用状況等	利用者数	376,744 人	367,267 人	ホール稼働率	84.6	78.1
	自主事業開催数	15	13	会議室・練習室等稼働率	81.6	80.6
	自主事業入場者数	21,476	13,893			
収支状況等	収入総額	478,868 千円	499,692 千円	支出総額	475,580 千円	481,972 千円
	(うち指定管理料)	296,154 千円	305,621 千円	清算額(市へ戻入分)	0 千円	0 千円
	施設使用料収入	138,507 千円	131,781 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	ホールの利用者には、自衛消防班編成表を御提出いただくとともに、舞台グループも、舞台機構設備の稼働時には、危険区域の立入禁止や安全確認のための声掛けを徹底するなど、利用者と協力し、安全確保に努めている。5階から7階のトイレを人感センサー付き照明にするとともに、管理事務室をはじめコミュニケーションプラザ、会議室の通路の照明をLED化するなど、省エネルギーに努めた。	S
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	お客様と受付等で最初に接する職員(レセプションист)のお客様に与える印象が重要なことから、県公立文化施設協議会主催の「レセプションист研修」を、29年度に当ホールで開催。多くの職員が参加し、スキルアップに努めた。 職場に導入しているグループソフトウェア内の電子会議室を利用して頻りに職場会議を開催し、利用者の立場に立った対応について話し合い、必要な改善を迅速に行った。	S
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	使用料が相対的に割安なリハーサル室及び練習室の利用率については、高率を維持しているものの減速傾向が窺える。また、バンド練習用の楽器備品類の利用件数が大きく落ち込んでいる。 当ホールのフェイスブックを開設し、チラシには掲載できないリハーサルの様子などを情報発信することにより、集客増につなげた。また、事前告知だけでなく、公演後のレポートにも力を注いだ。 平成29年度の自主事業のうち、補助を受けての主催事業の入場者数は計画比8%増、独自事業の入場者数は計画比2%増、共催事業の入場者数は計画比17%増であった。公演日にチケットのもぎりなどを手伝う公演ボランティア、チラシの発送を手伝う広報ボランティア、いずれも県内の他のホールにはないボランティア活動を確立している。インターネットを利用したWEBチケットの販売を含むチケット販売管理システムの円滑な運営を図り、利用者の利便性の向上に努めた。 設置管理者である高松市が、30年度に改修方法の検討、31年度に改修計画の策定、32年度に改修計画に基づく実施設計を策定し、その後改修工事に着手する予定であり、指定管理者で行った修繕記録の整理や、関係者との円滑な連絡調整を行った。	S
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	労働契約法の改正を受け、無期労働契約への転換が円滑に行えるよう導入準備を行い、安心して働き続けられる職場環境の創出に努めた(平成30年度導入済)。 平成29年度に「職員研修計画」を策定し、全ての職員が、主体的かつ計画的に職員研修に参加し、個々の職員の能力が最大限に発揮できる職場環境を創出した。 勤怠管理システムによる交代制勤務シフトへの対応を始め、勤務時間等の自動集計や給与ソフトに連動するデータの作成などにより、就業規則等の遵守に努めた。 施設使用料収益は計画を上回ったもの入場料収益等が計画を下回ったため、基本財産や特定資産を除く一般正味財産は前年度より約1千万円減額した。 第三者への損害に備える公立文化施設賠償責任保険・公立文化施設災害補償保険に加え、現金の盗難等に備える、スーパーマネー包括保険に加入している。 平成28、29年度において、サンポートホール高松開館15周年記念事業に要する経費の一部を積み立てるなど、計画的・効率的な資産の運用が行われた。	A
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	指定管理者として、設置者である高松市と緊密な連携のもと、これまでに培ってきた実績と成果、貴重な人材とノウハウを最大限に活用することにより、施設利用者が増加し、施設利用料収入が当初計画を上回った。 (公財)松平公益会の助成を得て、選考会で評価された香川県出身の若手音楽家に、当ホールでの演奏機会を提供した。第6回出場者が第3回リエクサ国際コンクールにて優勝した。任期満了に伴う評議員の改選においては、NHK高松放送局長を選任するなど、より実効性の高い組織運営に努めている。 経理担当について、円滑な事務処理と誤処理の防止を図るため、帳簿類の見直しに努めており、増員も検討している。	S
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
公益財団法人高松市文化芸術財団は、高松市文化芸術ホール開館時(平成16年)より指定管理者として、関係法令等に基づき、施設の維持管理・運営を適切に行っている。 平成29年度においては、利用者数・稼働率ともに上昇している。特に、共催事業であり、4年に1度開催される高松国際ピアノコンクールの円滑な実施にも多大な貢献をしており、自主事業入場者数増加の一因となっている。指定管理料収入については減少しているが、計画を上回る施設利用料収入を確保している。稼働率の上昇等により、一部人件費が増加しているが、委託費の圧縮等、経費縮減にも継続的に取り組んでおり、全体として経常費用を削減し、良好な経営状態を維持している。 また、ホールのPR・広報活動やニーズに即した事業選定等の運営努力や、助成金の獲得など自主財源確保とあわせた効率的経営を目指す努力も評価できる。 総じて、適正・堅実な管理運営を行っており、引き続き、本市における文化芸術の創造・発信拠点施設として、さらなる価値の向上に努めてもらいたい。	S